

「バイエル」によるピアノ練習に関する一考察 —学生は「バイエル」をどのように捉えているのか—

井上裕子

はじめに

「バイエル」は、1850年に出版された。1880（明治13）年に、ルーサー・ホワイティング・メーソン（Luther Whiting Mason, 1818～1896米）によって、日本に持ち込まれた教則本である。時代遅れの教則本と言われ、賛否両論ある中で、今なお日本では多くの種類が出版されている。

筆者自身も「バイエル」で、何の違和感もなくピアノの勉強を始めた一人である。時代の流れの中で、人の考え方や生活環境も大きく変化している。この調査は指導者側ではなく、実際に教材を与えられ、学んでいる現代の学生達が、明治時代に日本に入ってきた教則本「バイエル」を、どのように受け止めているのかを、アンケートの結果を基に考察したものである。

目的

本調査の目的は、本学総合保育学科の学生が、「バイエル」によるピアノ練習を、どのように捉えているのかを知る所であり、本調査結果を基に、今後のピアノ指導の参考とすることにある。

方法

1. 調査票の構成

調査票は、『「バイエル」によるピアノ練習に関するアンケート』という題でA4サイズ1枚と、本学総合保育学科1年生のバイエルの課題として出されている、No.12、13、23、24、44、65、66、68、69、72、73、74、78、80、81、82、86、88、91、96、97、98、100、101、102、103、104以上の27曲の内12、13を除く25曲のはじめの数小節をコピーしたA4サイズ1枚を添付して渡し、アンケートに回答してもらった。添付資料1、2を参照。

2. 調査対象

調査は、2014年1月9日（木）～1月25日（土）までに指導担当教員を通じて、本学総合保育学科の学生にアンケートを配布し回答してもらった。

配布学生は、2013（平成25）年度生1年127名で、回答を寄せてくれた学生は108名（回収率

85.0%)であった。

結果と考察

表の中に出てくるA～Iは、バイエルの課題として出されている27曲を練習内容ごとに、以下のように番号を分類したものである。

- A 連弾 44、86
- B 演奏技術の練習 B1 - 68、69、97 (3度の練習)
 - B2 - 80 (装飾音の練習)
 - B3 - 78、91 (置き止めの練習)
 - B4 - 96 (和音：片手で同時に3音弾く)
 - B5 - 100 (左右交差の練習)
 - B6 - 65 (指くぐり)
- C 付点のリズムの練習 72、88、98、102、104
- D 三連音の練習 74
- E 臨時記号の練習 73
- F 八分の六拍子 66
- G 転調の練習 81、82
- H 両手の動きの練習 12、13、23、24
- I 音の動きが単調 101、103

1. 弾いて好きなバイエル

(1) 弾いて好きなバイエルの順番

「バイエルの何番が好きですか」と尋ねたところ、表1-1の通りであった。

第1位が100番(19.4%)で、第2位が104番(12.0%)で、第3位が103番(10.2%)であった。第1位の100番は、途中で手を交差させる動作が難しいと初めは敬遠されるのであるが、そのアクロバットの動作をマスターすれば、難しいことが出来るようになったという満足感からか、好きになる学生が多い。

表1-1 弾いて好きなバイエルの順位

順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位以下	無回答	合計
曲番	100	104	103	98	78	97	101	88	86		
人数	21	13	11	9	7	5	5	4	3	*22	8
%	19.4	12.0	10.2	8.3	6.5	4.6	4.6	3.7	2.8	20.4	7.4

* 44・74・80・81・91・96・102番が2人ずつ、1・4・23・33・72・73・82・90番が1人ずつ。

(2) 弾いて好きなバイエルの理由

弾いて好きなバイエルの理由を自由記述で書いてもらったのをKJ法(川喜田二郎氏提唱・以下同様)で整理して、さらに27曲を以下のようにまとめたのが表1-2である。

弾いて好きな曲では、B類の演奏技術を選んだ学生が36.1%と最も多く、第2位は付点のリズム練習であるC類の26.9%、第3位は音の動きが単調なI類の14.8%であった。

好きな理由の第1位は「リズムが良い」(22.2%)、第2位「練習したので好き」(13.0%)、第3位「曲の雰囲気が好き」(10.2%)であった。

当たり前のことではあるが、弾けるようになれば、どんなに難しい曲であっても好きになる、という現れであろう。

表1-2 バイエルの好きな理由を27各曲の練習内容でまとめたもの

項目	バイエル27各曲で主に練習する内容										合計(%)	
	A (%)	B (%)	C (%)	D (%)	E (%)	F (%)	G (%)	H (%)	I (%)	無回答(%)		
1.リズムが良い	0 (0.0)	10 (25.6)	7 (24.1)	0 (0.0)	1 (100)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	5 (31.3)	1 (8.3)	24 (22.2)
2.練習したので好き	0 (0.0)	6 (15.4)	6 (20.7)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (33.3)	0 (0.0)	1 (6.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	14 (13.0)
3.曲の雰囲気が好き	0 (0.0)	5 (12.8)	5 (17.2)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (100)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	11 (10.2)
4.弾きやすい	0 (0.0)	5 (12.8)	1 (3.4)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (33.3)	0 (0.0)	2 (12.5)	0 (0.0)	0 (0.0)	9 (8.3)
5.テンポが好き	0 (0.0)	7 (17.9)	1 (3.4)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (6.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	9 (8.3)
6.連弾が楽しい	2 (40.0)	3 (7.7)	3 (10.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (8.3)	9 (8.3)
7.曲調が好き	0 (0.0)	1 (2.6)	3 (10.3)	1 (50.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (6.3)	1 (8.3)	0 (0.0)	7 (6.5)
8.簡単で覚えやすい	2 (40.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (12.5)	3 (25.0)	0 (0.0)	7 (6.5)
9.メロディーが好き	0 (0.0)	2 (5.1)	0 (0.0)	1 (50.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	3 (2.8)
10.好きだから	0 (0.0)	1 (2.6)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (1.9)
11.その他	1 (20.0)	1 (2.6)	2 (6.9)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (16.7)	6 (5.6)
無回答	0 (0.0)	3 (7.7)	3 (10.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (33.3)	0 (0.0)	5 (31.3)	4 (33.3)	0 (0.0)	16 (14.8)
反応総数(実人数)	5 (5)	44 (39)	31 (29)	2 (2)	1 (1)	0 (0)	3 (3)	1 (1)	18 (16)	12 (12)	0 (0)	117 (108)
%	4.6%	36.1%	26.9%	1.9%	0.9%	0.0%	2.8%	0.9%	14.8%	11.1%	0.0%	

[各項目の回答と人数]

1. リズムが良い：リズムが好き17、リズムが良い3、乗りが良い1、リズムが取りやすい1、流れが好き1、リズムが一定だから1
2. 練習したので好き：練習をしたので好き10、弾けたので嬉しい1、楽しく上手に弾けたので好き1、弾いた記憶がある1、弾き終わった達成感が好き1
3. 曲の雰囲気が好き：キレイな曲だから2、ルンルンするから1、ワクワクするから1、キレイに聞こえる1、笑顔で弾ける1、ゆったりした曲1、落ち着く1、聞きやすい1、面白い1、曲が可愛いから1
4. 弾きやすい：弾きやすい9
5. テンポが好き：テンポが好き8、テンポが良い1
6. 連弾が楽しい：楽しいから7、連弾が楽しい2
7. 曲調が好き：曲調が好き5、明るい曲2
8. 簡単で覚えやすい：簡単だから5、覚えやすかったから1、短いから1
9. メロディーが好き：メロディーが好き3
10. 好きだから：難しいけど好き1、好きだから1
11. その他：なんとなく2、特にない1、基礎だと思うから1、あまり好きじゃない1、分からない1

(3) 弾いて好きなバイエルの程度

バイエルを弾いて好きな程度を聞いたのが、図1である。好きな程度を大好き4点～好き1点の4件法で聞いたが、好きな程度を平均2.5としたところ、平均値2.57、標準偏差1.055、自由度97、t値0.67で好きな程度が平均以上ではなかった。

最も多かったのが「かなり好き」(26.9%)であった。「大変好き」(22.2%)と「かなり好き」(26.9%)を合わせると49.1%で、好きな程度の5割弱を占めている。バイエルには、学生達の心を惹きつける「何か」があると言える。

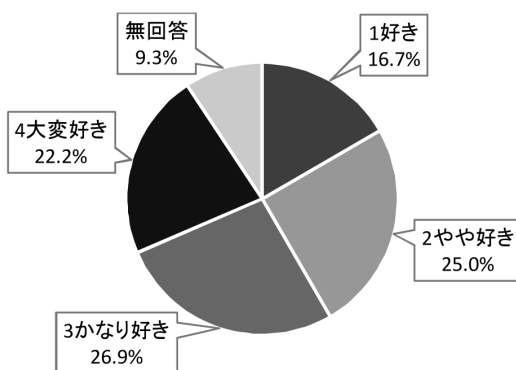


図1 好きな程度

(4) 弾いて好きな程度とバイエル27各曲で主に練習する内容

表1-3は、好きな程度をバイエル27各曲で主に練習する内容でまとめたものである。

上位3位までを占めるB類C類I類で見ると、B類の第1位は「かなり好き」で、C類は「やや好き」で、I類は「好き」「やや好き」であった。全体の好きな程度の順位が「かなり好き」「やや好き」「大好き」「好き」の順位であったが、B・C・I類とは、若干の順位の違いが見られた。

表1-3 好きな程度とバイエル27各曲で主に練習する内容

項目	バイエルの27各曲で主に練習する内容										合計(%)
	A (%)	B (%)	C (%)	D (%)	E (%)	F (%)	G (%)	H (%)	I (%)	無回答(%)	
1. 好き	1 (20.0)	4 (10.3)	5 (17.2)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	3 (100.0)	0 (0.0)	5 (31.3)	0 (0.0)	18 (16.7)
2. やや好き	1 (20.0)	12 (30.8)	8 (27.6)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	5 (31.3)	1 (8.3)	27 (25.0)
3. かなり好き	1 (20.0)	13 (33.3)	7 (24.1)	1 (50.0)	1 (100)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (100.0)	4 (25.0)	1 (8.3)	29 (26.9)
4. 大変好き	2 (40.0)	10 (25.6)	7 (24.1)	1 (50.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (12.5)	2 (16.7)	24 (22.2)
無回答	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (6.9)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	8 (66.7)	10 (9.3)
反応総数 (%)	5 (4.6)	39 (36.1)	29 (26.9)	2 (1.9)	1 (0.9)	0 (0.0)	3 (2.8)	1 (0.9)	16 (14.8)	12 (11.1)	108

2. 弾いて楽しいバイエル

(1) 弾いて楽しいバイエルの順番

「バイエルの何番が楽しいですか」と尋ねたところ、表2-1の通りであった。第1位が100番(18.5%)で、第2位が103番(11.1%)で、第3位が98番(9.3%)であった。

2位の103番は、左手がアルベルティ・バス(和音を構成する音を同時ではなく、1音ずつバラバラで演奏する形式)でI(ドミソ)・IV(ファラド)・V(ソシレ)の和音しか出てこないこともあり、後半100番代になってこれぐらいのレベルだとかなり弾き易いため、楽しいと感じるのであろう。

3位の98番に関しては、付点のリズム・スタッカート(その音を短く切る)とスタッカーティッシモ(スタッカートよりもっと鋭い)の弾きわけ・1拍目が休符で2拍目から入るなど難しいのであるが、左手が絶えず3拍子を刻むのでリズムに乗りやすく、またへ長調で強弱もmf fしか出てこないのも明るいため、取りあえず弾けるようになれば、曲らしく聴こえるからだと思われる。

表2-1 弾いて楽しいバイエルの順位

順位	1位	2位	3位	4位		5位	6位	7位	8位			9位以下	無回答	合計
曲番	100	103	98	97	104	78	101	102	72	88	91			
人数	20	12	10	9	9	8	6	4	3	3	3	*13	8	108
%	18.5	11.1	9.3	8.3	8.3	7.4	5.6	3.7	2.8	2.8	2.8	12.0	7.4	100

* 80・86番が2人ずつ、23・44・50・65・74・81・82・87・96番が1人ずつ。

(2) 弾いて楽しいバイエルの理由

弾いて楽しいバイエルの理由を自由記述で書いてもらったのを整理して、さらに27曲を以下のようにまとめたのが表2-2である。

弾いて楽しい曲の第1位はB類の40.7%で、第2位はC類の26.9%、第3位はI類の16.7%で「弾いて好きなバイエル」の順位と同じであった。

弾いて楽しい理由の第1位は「リズムが楽しい」(23.1%)で、第2位「演奏技術が楽しい」(22.2%)、第3位「曲調が好き」「練習したので楽しい」が共に(14.8%)であった。

第1位と第2位は僅差であった。

好き(理屈抜きに心が引き付けられる)と楽しい(満足な状態が続いて何の不満もない)では意味が違うので、この設問に対する結果は意外であった。

表2-2 バイエルの楽しい理由を27各曲の練習内容でまとめたもの

項目	バイエルの各曲で主に練習する内容										合計
	A	B	C	D	E	F	G	H	I	無回答	
1. リズムが楽しい	1 (33.3)	11 (25.0)	8 (27.6)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	4 (22.2)	1 (10.0)	25 (23.1)
2. 演奏技術が楽しい	1 (33.3)	10 (22.7)	8 (27.6)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (100)	4 (22.2)	0 (0.0)	24 (22.2)
3. 曲調が好き	0 (0.0)	6 (13.6)	4 (13.8)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	6 (33.3)	0 (0.0)	16 (14.8)
4. 練習したので楽しい	0 (0.0)	5 (11.4)	7 (24.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (50.0)	0 (0.0)	2 (11.1)	1 (10.0)	16 (14.8)
5. テンポが好き	0 (0.0)	4 (9.1)	2 (6.9)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (5.6)	0 (0.0)	7 (6.5)
6. 曲の雰囲気が楽しい	0 (0.0)	2 (4.5)	2 (6.9)	1 (100)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (50.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	6 (5.6)
7. メロディーが好き	0 (0.0)	4 (9.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (5.6)	1 (10.0)	6 (5.6)
8. その他	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (20.0)	2 (1.9)
無回答	1 (33.3)	8 (18.2)	4 (13.8)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (5.6)	5 (50.0)	19 (17.6)
反応総数(実人数)	3 (3)	50 (44)	35 (29)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	2 (2)	1 (1)	19 (18)	10 (10)	121 (108)
%	2.8%	40.7%	26.9%	0.9%	0.0%	0.0%	1.9%	0.9%	16.7%	9.3%	

[各項目の回答と人数]

1. リズムが楽しい：リズムが乗れる7、リズムが楽しい5、リズムが好き5、リズムが良い4、はねる感じが楽しい2、繰り返し出てくるリズムが多いから1、「雪やこんこん」のリズムだから1
2. 演奏技術が楽しい：弾いていて楽しい10、弾きやすい6、装飾音符があるから3、右も左も順番に動かして楽しい1、弾きがいがあるから1、連弾が楽しい1、演奏の仕方が楽しい1、左手が楽しい1
3. 曲調が好き：明るい曲4、簡単だから4、好きだから2、曲の長さが良い1、曲の始まりがカッコイイ1、練習曲っぽいやから1、曲の感じ(作り)が好き1、独特で楽しい1、楽しいから1
4. 練習したので楽しい：弾けるようになったら楽しい6、テスト曲だったから4、何度も練習したので楽しくなった3、弾けたらルンルンする1、課題の最後の曲だから1、覚えて弾けるようになるのが楽しい1
5. テンポが好き：テンポが良い4、テンポを上げて弾くのが楽しい1、テンポが好き1、テンポが楽しい1
6. 曲の雰囲気が楽しい：調が好きだから4、調が楽しい1、調が変化するのが楽しい1
7. メロディーが好き：メロディーが好き3、メロディーが乗りやすい2、ストーリーを感じる1
8. その他：なし1、分かりません1

(3) 弾いて楽しいバイエルの程度

バイエルを弾いて楽しい程度を聞いたのが、図2である。楽しい程度を大変楽しい4点～楽しい1点の4件法で聞いたが、好きな程度を平均2.5としたところ、平均値2.61、標準偏差0.933、自由度95、t値1.203で楽しい程度が平均以上ではなかった。

最も多かったのが「やや楽しい」(31.5%)であった。「かなり楽しい」(29.6%)と「大変楽しい」(17.6%)を合わせると47.2%で、楽しい程度の5割弱を占めている。バイエルは楽しい曲と言える。

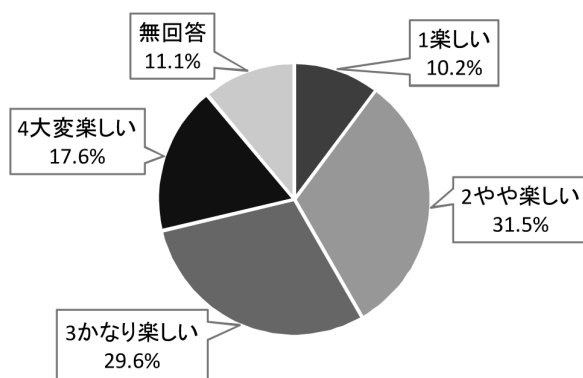


図2 楽しい程度

(4) 楽しい程度とバイエル27各曲で主に練習する内容

表2-3は、楽しい程度をバイエル27各曲で主に練習する内容でまとめたものである。

B類で最も多かったのが、「やや楽しい」「かなり楽しい」(29.5%) が同順位であった。

C類では「やや楽しい」(37.9%) で、I類は「かなり楽しい」(44.4%) が最も多かった。

この結果から、満足な状態で弾けるようになるには難しいということであり、やはり「好き」と「楽しい」では感じ方が違うという表れであろう。

表2-3 楽しい程度とバイエル27各曲で主に練習する内容

項目	バイエルの27各曲で主に練習する内容										合計 (%)
	A (%)	B (%)	C (%)	D (%)	E (%)	F (%)	G (%)	H (%)	I (%)	無回答 (%)	
1.楽しい	1 (33.3)	5 (11.4)	4 (13.8)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (5.6)	0 (0.0)	11 (10.2)
2.やや楽しい	2 (66.7)	13 (29.5)	11 (37.9)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (50.0)	0 (0.0)	6 (33.3)	1 (10.0)	34 (31.5)
3.かなり楽しい	0 (0.0)	13 (29.5)	10 (34.5)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (50.0)	0 (0.0)	8 (44.4)	0 (0.0)	32 (29.6)
4.大変楽しい	0 (0.0)	11 (25.0)	3 (10.3)	1 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (100.0)	2 (11.1)	1 (10.0)	19 (17.6)
無回答	0 (0.0)	2 (4.5)	1 (3.4)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (5.6)	8 (80.0)	12 (11.1)
反応総数 (%)	3 (2.8)	44 (40.7)	29 (26.9)	1 (0.9)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (1.9)	1 (0.9)	18 (16.7)	10 (9.3)	108

3. 弾いて難しいバイエル

(1) 弾いて難しいバイエルの順番

「バイエルの何番が難しいですか」と尋ねたところ、表3-1の通りであった。第1位が100番 (20.4%) で、第2位が98番 (14.8%) で、第3位が104番 (13.0%) であった。

第1位の100番は、置き止め (左手5の指を置いたままで、残りの1.2.3.4の指を動かす) と、中間で手を交差させる動作と、装飾音符 (前打音) の弾き方が難しいため、かなり敬遠される曲である。

第2位の98番は、8分の3拍子 (強拍・弱拍・弱拍) の曲であるが、付点のリズム (付点八分音符+十六分音符のリズム) を、八分休符分待って入れるのが難しいようで、右手が弱拍の2拍目か

ら入ってくることも、左手は絶えず3拍子を刻んでいるのであるが、右手を入れるタイミングが計りにくいのではないかと思われる。

第3位の104番は、最後の方の番号とあって、内容的によくまとまっている曲であるが、その分学生達にとっては色々な演奏法をしなければならないので、難しいと感じるのであろう。

表3-1 弾いて難しいバイエルの順位

順位	1位	2位	3位	4位	5位			6位	7位	8位以下	無回答	合計
曲番	100	98	104	102	80	82	97	86	101			
人数	22	16	14	9	5	5	5	4	3	*11	14	108
%	20.4	14.8	13.0	8.3	4.6	4.6	4.6	3.7	2.8	10.2	13.0	100

*72・79番が2人ずつ、73・78・88・91・96・106番・全部が1人ずつ。

(2) 弾いて難しいバイエルの理由

弾いて難しいバイエルの理由を自由記述で書いてもらったのを整理して、さらに27曲を以下のようにまとめたのが表3-2である。

弾いて難しい曲の上位3位は、C類(38.9%)、B類(32.4%)、G類(4.6%)の順位であった。弾いて難しい理由の第1位は、「手の動かし方」(30.6%)で、第2位「リズムが難しい」(18.5%)、第3位「記号が多すぎる」(11.1%)であった。第1位と第2位との間に12.1%もの差があった。

表3-2 バイエルの難しい理由を27各曲の練習内容でまとめたもの

項目	バイエルの各曲で主に練習する内容											合計(%)
	A(%)	B(%)	C(%)	D(%)	E(%)	F(%)	G(%)	H(%)	I(%)	無回答(%)		
1. 手の動かし方	0(0.0)	15(42.9)	16(38.1)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(33.3)	1(5.6)	33(30.6)
2. リズムが難しい	4(100.0)	4(11.4)	9(21.4)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(20.0)	0(0.0)	2(66.7)	0(0.0)	0(0.0)	20(18.5)
3. 記号が多すぎる	0(0.0)	5(14.3)	4(9.5)	0(0.0)	1(100.0)	0(0.0)	2(40.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	12(11.1)
4. 難しかった	0(0.0)	1(2.9)	2(4.8)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(20.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	4(22.2)	8(7.4)
5. 曲の作りが難しそう	1(25.0)	2(5.7)	3(7.1)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	6(5.6)
6. 練習中のつまずき	0(0.0)	1(2.9)	4(9.5)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(20.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	6(5.6)
7. 和音だから	0(0.0)	2(5.7)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	2(1.9)
8. テンポの変化	0(0.0)	0(0.0)	2(4.8)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	2(1.9)
9. その他	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	3(16.7)	3(2.8)
無回答	0(0.0)	6(17.1)	5(11.9)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	10(55.6)	21(19.4)
反応総数	5(4)	36(35)	45(42)	0(0)	1(1)	0(0)	5(5)	0(0)	3(3)	18(18)		113(108)
%	3.7%	32.4%	38.9%	0.0%	0.9%	0.0%	4.6%	0.0%	2.8%	16.7%		

[各項目の回答と人数]

1. 手の動かし方：指の動きが難しい12、右手と左手のタイミングが合わない6、左右交差して弾くのが難しい4、移動が難しい(オクターブ)4、右と左が少しずれるから3、右手がづらい3、左手1音をのばしながら他の指を動かす1
2. リズムが難しい：ややこしい音符が出てくるから8、リズムが難しい8、リズムに乗れない4
3. 記号が多すぎる：#が入ってくるから4、裝飾音符があるから3、スタッカートが多いから2、記号が多いから2、休符が入るから1
4. 難しかった：ほぼ全部4、難しかった4

5. 曲の作りが難しそう：楽譜を見た時点で難しそう 2、切返しが大変 1、曲が長い 1、連弾になっている 1、課題の最後の曲なので 1
6. 練習中のつまづき：合格までに何週間もかかった 2、いっぱい怒られた 1、最初につまづいてなかなか抜け出せなかった 1、テストでミスった 1、弾けるまでイライラする 1
7. 和音だから：和音だから 2
8. テンポの変化：テンポの変化 2
9. その他：分かりません 2、難しかった 1

(3) 弾いて難しいバイエルの程度

バイエルを弾いて難しい程度を聞いたのが、図3である。難しい程度を大変難しい4点～難しい1点の4件法で聞いたが、難しい程度を平均2.5としたところ、平均値2.51、標準偏差1.004、自由度90、t値0.052、で難しい程度が平均以上ではなかった。

最も多かったのが「やや難しい」(31.5%)であった。「大変難しい」(17.6%)と「かなり難しい」(21.3%)を合わせると38.9%で、難しさの程度の4割弱を占めている。

バイエルの難しさの程度は、半々ぐらいと言える。

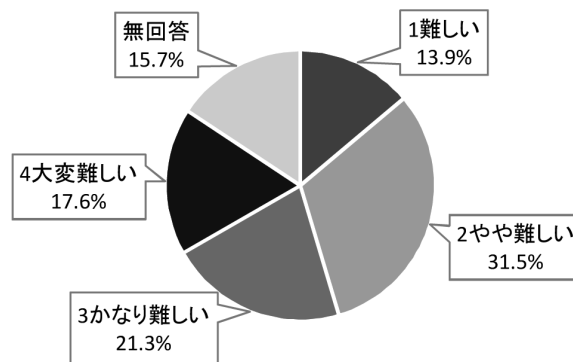


図3 難しい程度

(4) 難しい程度とバイエル27各曲で主に練習する内容

表3-3は、難しい程度をバイエル27各曲で主に練習する内容でまとめたものである。

上位3位までを占めるB類C類G類で見ると、B類の第1位は「やや難しい」(45.7%)で、C類「かなり難しい」(31.0%)で、G類「大変難しい」(40.0%)であった。

全体として「やや難しい」が多かったので、曲を理解することや仕上げることにに対して、それほど、練習に手間が掛かるとは感じていないようである。

表3-3 難しい程度とバイエル27各曲で主に練習する内容

項目	バイエルの各曲で主に練習する内容										合計(%)
	A (%)	B (%)	C (%)	D (%)	E (%)	F (%)	G (%)	H (%)	I (%)	無回答(%)	
1. 難しい	0 (0.0)	5 (14.3)	4 (9.5)	0 (0.0)	1 (100.0)	0 (0.0)	1 (20.0)	0 (0.0)	2 (66.7)	2 (11.1)	15 (13.9)
2. やや難しい	3 (75.0)	16 (45.7)	12 (28.6)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	3 (16.7)	34 (31.5)
3. かなり難しい	1 (25.0)	8 (22.9)	13 (31.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (20.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	23 (21.3)
4. 大変難しい	0 (0.0)	4 (11.4)	9 (21.4)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (40.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	4 (22.2)	19 (17.6)
無回答	0 (0.0)	2 (5.7)	4 (9.5)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (20.0)	0 (0.0)	1 (33.3)	9 (50.0)	17 (15.7)
反応総数 (%)	4 (3.7)	35 (32.4)	42 (38.9)	0 (0.0)	1 (0.9)	0 (0.0)	5 (4.6)	0 (0.0)	3 (2.8)	18 (16.7)	108

4. 弾いて嫌いなバイエル

(1) 弾いて嫌いなバイエルの順番

「バイエルの何番が嫌いですか」と尋ねたところ、表4-1の通りであった。第1位が102番(11.1%)で、第2位が104番(8.3%)と100番(8.3%)が同順で、第3位が98番(7.4%)であった。

第1位の102番は、複付点音符が出てくるのであるが、複付点音符の後の十六分音符の入れ方が難しく、また複付点のリズムを気にするあまり、左手の音が保たれにくくなり、右手の十六分音符を弾く時、左手に休符ができ、音が途切れることがある。その他1~3のように1の指で音を弾き、音を弾き直すことなく(鍵盤は下したまま)指を3に替えるなど、学生たちはかなり苦戦している。

第2位の104番は、ほぼソナタ形式で、かなりまとまった曲であるが、十六分音符の長いパッセージ(たんに旋律音のあいだを急速に上行し下行する音符群)があるため、指使いで苦勞している。(100番98番については、3. 弾いて難しいバイエルの(1)の項目を参照)

表4-1 弾いて嫌いなバイエルの順位

順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位以下	無回答	合計	
曲番	102	104	100	98	82	97	101	72	80	103	
人数	12	9	9	8	6	6	5	4	4	3	*18
%	11.1	8.3	8.3	7.4	5.6	5.6	4.6	3.7	3.7	2.8	16.7
											22.2
											100

* 81・86・88・91・106番が2人ずつ、44・65・68・73・78・92・105番・全部が1人ずつ。

(2) 弾いて嫌いなバイエルの理由

弾いて嫌いなバイエルの理由を自由記述で書いてもらったのを整理して、さらに27曲を以下のようにまとめたのが表4-2である。

上位3位の第1位はC類(32.4%)で、第2位B類(22.2%)、第3位G・I類(7.4%)で同順位であった。弾いて嫌いなバイエルの理由の第1位は、弾いて難しいバイエルの理由の結果と同様に、「指の動かしが難しい」(17.6%)で、第2位「曲の作りが嫌い」(15.7%)、第3位「難しいから」(12.0%)の順位であった。

表4-2 バイエルの嫌いな理由を27各曲の練習内容でまとめたもの

項目	バイエルの各曲で主に練習する内容											合計(%)
	A (%)	B (%)	C (%)	D (%)	E (%)	F (%)	G (%)	H (%)	I (%)	無回答(%)		
1. 指の動かしが難しい	1 (33.3)	7 (29.2)	7 (20.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (12.5)	0 (0.0)	2 (25.0)	1 (3.4)	19 (17.6)	
2. 曲の作りが嫌い	0 (0.0)	4 (16.7)	6 (17.1)	0 (0.0)	1 (100.0)	0 (0.0)	1 (12.5)	0 (0.0)	5 (62.5)	0 (0.0)	17 (15.7)	
3. 難しいから	0 (0.0)	1 (4.2)	8 (22.9)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	3 (37.5)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (3.4)	13 (12.0)	
4. 音楽記号が多いから	0 (0.0)	4 (16.7)	2 (5.7)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (25.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (3.4)	9 (8.3)	
5. 嫌い	0 (0.0)	2 (8.3)	3 (8.6)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (12.5)	0 (0.0)	0 (0.0)	3 (10.3)	9 (8.3)	
6. リズムに乗れない	0 (0.0)	2 (8.3)	2 (5.7)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	4 (3.7)	
7. 和音を弾くのが難しい	0 (0.0)	3 (12.5)	1 (2.9)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	4 (3.7)	
8. その他	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (2.9)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	14 (48.3)	15 (13.9)	
無回答	2 (66.7)	1 (4.2)	5 (14.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (12.5)	9 (31.0)	18 (16.7)	
反応総数	3 (3)	24 (24)	35 (35)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	8 (8)	0 (0)	8 (8)	29 (29)	108 (108)	
%	2.8%	22.2%	32.4%	0.0%	0.9%	0.0%	7.4%	0.0%	7.4%	26.9%		

[各項目の回答と人数]

- 指の動かしが難しいから：指の動きが難しい8、左手5をのぼしながら左手の他の指を動かすところ3、細かい音を入れるのが難しい2、弾きにくい2、手・指がすりそうになったから2、のぼす音が高い1、指のくぐりがあるから1
- 曲の作りが嫌い：読みにくい5、同じことの繰り返しだから4、曲の始まりで右と左と一緒に出ないから3、暗いから2、途中ややこしい1、右手のメロディーの変化していくところが好きではないから1、急に変わるところが嫌い焦るから1
- 難しいから：難しいから13
- 音楽記号が多いから：装飾音符が多く弾きにくい3、「#」が多い3、臨時記号がめんどくさい2、休符があるから1
- 嫌い：嫌い5、後半が全然弾けないから3、テストで失敗して弾くのが嫌いになった1
- リズムに乗れないから：リズムに乗れない2、リズムが難しいから2
- 和音を弾くのが難しい：和音が好きじゃない1、和音を弾くのはしんどいから3
- その他：特にありません8、なし3、笑顔を失う1、覚えてない1、分かりません1、全部1

(3) 弾いて嫌いなバイエルの程度

バイエルを弾いて嫌いな程度を聞いたのが、図4である。嫌いな程度を大変嫌い4点～嫌い1点の4件法で聞いたが、嫌いな程度を2.5としたところ、平均値2.36、標準偏差0.891、自由度82、t値1.416で嫌いな程度が平均以上ではなかった。

最も多かったのが「やや嫌い」(31.5%)であった。「大変嫌い」(8.3%)と「かなり嫌い」(24.1%)を合わせると32.4%で、嫌いな程度の3割強を占めているだけである。

バイエルの嫌いな程度は、それほどではないと言える。

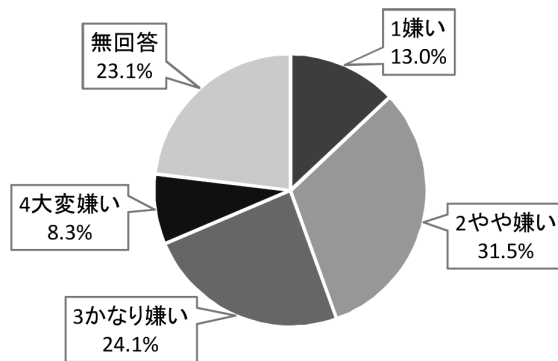


図4 嫌いな程度

(4) 嫌いな程度とバイエル27各曲で主に練習する内容

表4-3は、嫌いな程度をバイエル27各曲で主に練習する内容でまとめたものである。

C類で最も多かったのが「やや嫌い」(42.9%)、B類(45.8%)、I類(50.0%)ともに「やや嫌い」が多かった。

全体として「やや嫌い」(31.5%)が最も多く、嫌いの程度が高い「大変嫌い」と「かなり嫌い」を合わせて32.4%であった。嫌いが全体の76%を占めているが、それほど嫌っていないとも言える。

表4-3 嫌いな程度とバイエル27各曲で主に練習する内容

項目	バイエルの各曲で主に練習する内容										合計 (%)
	A (%)	B (%)	C (%)	D (%)	E (%)	F (%)	G (%)	H (%)	I (%)	無回答 (%)	
1. 嫌い	1 (33.3)	2 (8.3)	5 (14.3)	0 (0.0)	1 (100.0)	0 (0.0)	1 (12.5)	0 (0.0)	1 (12.5)	3 (10.3)	14 (13.0)
2. やや嫌い	2 (66.7)	11 (45.8)	15 (42.9)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (12.5)	0 (0.0)	4 (50.0)	1 (3.4)	34 (31.5)
3. かなり嫌い	0 (0.0)	10 (41.7)	9 (25.7)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (25.0)	0 (0.0)	3 (37.5)	2 (6.9)	26 (24.1)
4. 大変嫌い	0 (0.0)	1 (4.2)	3 (8.6)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (25.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	3 (10.3)	9 (8.3)
無回答	0 (0.0)	0 (0.0)	3 (8.6)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (25.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	20 (69.0)	25 (23.1)
反応総数 (%)	3 (2.8)	24 (22.2)	35 (32.4)	0 (0.0)	1 (0.9)	0 (0.0)	8 (7.4)	0 (0.0)	8 (7.4)	29 (26.9)	108

5. バイエルがピアノをマスターするのに役立っているか

(1) バイエルがピアノをマスターするのに役立っているかの程度

バイエルがピアノをマスターするのに役立っているかの程度を聞いたのが、図5である。役立っている程度を、役立っている6点～役立っていない1点の6件法で聞いたが、役立っている程度を平均3.5としたところ、平均値4.4、標準偏差0.836、自由度101、t値10.902、 $p < .001$ で大変役立っている程度が平均以上であった。

最も多かったのが「役立っている」(55.6%)であった。「役立っている」と「やや役立っている」(24.1%)を合わせると79.7%で、役立っているが8割弱を占めている。

「役立っていない」と「やや役立っていない」を合わせても1.8%で圧倒的にバイエルは、学生達に役立っていると言える。

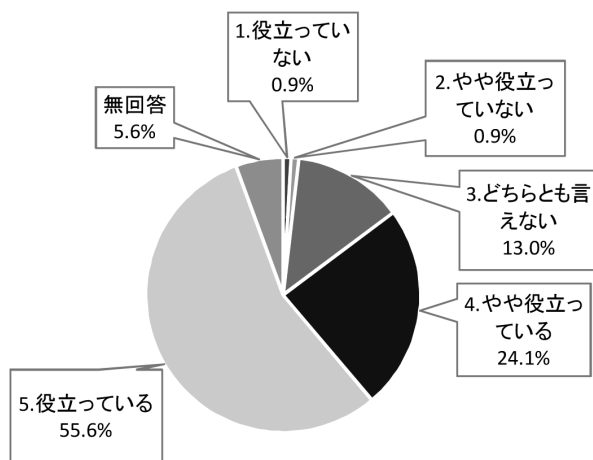


図5 バイエルがピアノをマスターするのに役立っている程度

(2) バイエルがピアノをマスターするのに役立っている理由

バイエルがピアノをマスターするのに役立っている理由を自由記述で書いてもらったのを整理して、役立つ程度でまとめたのが表5である。

バイエルがピアノをマスターするのに役立っているが8割を占めているが、その理由として、最も多かったのが「指の練習になる」(22.2%)で、第2位を「ピアノの基礎だと思う」「バイエルを終えると弾けるようになる気がする」(16.7%)が同順位で占めていた。

自由記述を「各項目の回答と人数」で分類したように、バイエルが日本人にとって馴染み易い教則本であるということが断定できる。

表5 バイエルがピアノをマスターするのに役立っている理由と程度

項目	1. 役立っていない (%)	2. やや役立っていない (%)	3. どちらとも言えない (%)	4. やや役立っている (%)	5. 役立っている (%)	無回答 (%)	合計 (%)
1. 指の練習になる	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (14.3)	5 (19.2)	16 (26.7)	1 (16.7)	24 (22.2)
2. ピアノの基礎だと思う	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (7.1)	4 (15.4)	11 (18.3)	2 (33.3)	18 (16.7)
3. バイエルを終えると弾けるようになる気がする	1 (100.0)	1 (100.0)	1 (7.1)	2 (7.7)	13 (21.7)	0 (0.0)	18 (16.7)
4. 音符が読めるようになる	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	3 (11.5)	8 (13.3)	0 (0.0)	11 (10.2)
5. バイエルを練習して弾けるようになった	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (7.1)	3 (11.5)	5 (8.3)	1 (16.7)	10 (9.3)
6. リズムの練習ができる	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (7.7)	3 (5.0)	1 (16.7)	6 (5.6)
7. その他	1 (100.0)	0 (0.0)	6 (42.9)	2 (7.7)	2 (3.3)	1 (16.7)	12 (11.1)
無回答	0 (0.0)	0 (0.0)	4 (28.6)	7 (26.9)	8 (13.3)	1 (16.7)	20 (18.5)
反応総数 (実人数)	2 (1)	1 (1)	15 (14)	28 (26)	66 (60)	7 (6)	119 (108)
%	0.9%	0.9%	13.0%	24.1%	55.6%	5.6%	

[各項目の回答と人数]

1. 指の練習になる：指の練習23、両手で弾けるようになるから1
2. ピアノの基礎だと思う：基礎だと思うから16、音楽の記号の意味がよく分かったから2
3. バイエルを終えると弾けるようになる気がする：バイエルを弾けるようにならないと上にいけないと思う4、自分のレベルに合わせて出来るので4、色々な曲を弾けるようになる3、曲のレベルがゆっくり上がっていくので3、やれば自信につながるから2、日々成長できる1、バイエルを弾けるようになれば大体は弾ける気がする1
4. 音符が読めるようになる：音符が読めるようになる11
5. バイエルを練習して弾けるようになった：初心者だった私が弾けるようになった5、基本が出来るようになった3、ピアノの事が少し分かった気がするから1、進めていくとある程度弾けるようになる1
6. リズムの練習ができる：基礎のリズムの練習ができる6
7. その他：バイエルをするんだったら他の曲をしたい3、あまり役立っていない2、分からない2、バイエルから始めたので2、たぶん役立っている1、歌付きの方がやりやすそう1、1曲弾けるようになったら嬉しい1

6. バイエルがピアノをマスターするのに必要か

(1) バイエルがピアノをマスターするのに必要かの程度

バイエルがピアノをマスターするのに必要かの程度を聞いたのが、図6である。必要である程度を、必要である6点～必要でない1点の6件法で聞いたが、必要である程度を平均3.5としたところ、平均値4.49、標準偏差0.736、自由度97、t値13.32、 $p < .001$ で必要である程度が平均以上であった。

最も多かったのが「必要である」(54.6%)であった。「必要である」と「やや必要である」(27.8%)を合わせると82.4%で、必要であるの8割強を占めている。「必要でない」「やや必要でない」を合わせても0.9%で1%にも満たない。すなわちバイエルがピアノをマスターするのに、大変必要であると言える。

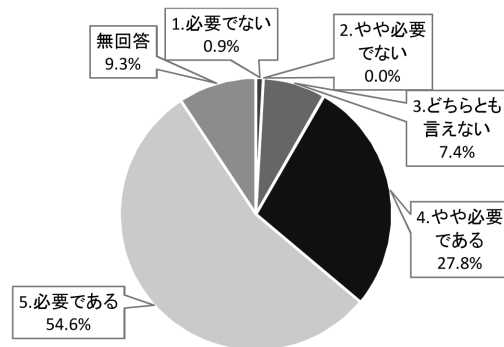


図6 バイエルがピアノをマスターするのに必要な程度

(2) バイエルがピアノをマスターするのに必要な理由

バイエルがピアノをマスターするのに必要な理由を自由記述で書いてもらったのを整理して、必要な程度でまとめたのが表6である。

バイエルがピアノをマスターするのに必要であるとした学生が8割強を占めていたが、その理由として最も多かったのが、「基礎が出来るようになる」(23.1%)で、第2位が「バイエルが基礎だと思ふから」(16.7%)、第3位が「初心者には分かり易い」「あらゆる面で必要」(11.1%)と同順位であった。これらの回答結果から、「バイエル=基礎」という考え方が、日本人には深く浸透していることが読み取れる。

表6 バイエルがピアノをマスターするのに必要な理由と程度

項目	1. 必要でない (%)	2. やや必要である (%)	3. どちらとも言えない (%)	4. やや必要である (%)	5. 必要である (%)	無回答 (%)	合計 (%)
1. 基礎が出来るようになる	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (12.5)	7 (23.3)	15 (25.4)	2 (20.0)	25 (23.1)
2. バイエルが基礎だと思ふから	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (6.7)	13 (22.0)	3 (30.0)	18 (16.7)
3. 初心者には分かり易い	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	4 (13.3)	8 (13.6)	0 (0.0)	12 (11.1)
4. あらゆる面で必要	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (25.0)	3 (10.0)	5 (8.5)	2 (20.0)	12 (11.1)
5. ピアノが弾けるようになったから	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (12.5)	2 (6.7)	6 (10.2)	1 (10.0)	10 (9.3)
6. 音符を読む練習になる	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (6.7)	3 (5.1)	0 (0.0)	5 (4.6)
7. 色々なパターンの曲が弾ける	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (6.7)	1 (1.7)	0 (0.0)	3 (2.8)
8. その他	1 (100.0)	0 (0.0)	3 (37.5)	2 (6.7)	2 (3.4)	2 (20.0)	10 (9.3)
無回答	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (12.5)	9 (30.0)	7 (11.9)	3 (30.0)	20 (18.5)
反応総数 (実人数)	1 (1)	0 (0)	8 (8)	33 (30)	60 (59)	13 (10)	115 (108)
%	0.9%	0.0%	7.4%	27.8%	54.6%	9.3%	

[各項目の回答と人数]

1. 基礎が出来るようになる：基礎が出来るようになるので19、色々な指の動きを覚えられるから6
2. バイエルが基本だと思うから：バイエルが基本だから11、バイエルが弾けるようにならないと他の曲をするのは難しいと思う7
3. 初心者には分かり易い：ピアノの初心者には分かり易いから5、初心者用にだんだんと難しくなるので4、いきなり難しいのはムリなので2、レベルに合った曲が練習できるから1
4. あらゆる面で必要：必要だと思う5、ピアノを上達するためには必要2、日々成長するために1、コツコツ練習するには必要1、出来た時に達成感が味わえる1、ピアノに慣れるためには必要1、保育士にはピアノがいるから1
5. ピアノが弾けるようになったから：バイエルをしたことでピアノが弾けるようになったから5、やっけていくうちによく出る伴奏やリズムがだんだん分かってくるから3、両手で弾けるようになるから2
6. 音符を読む練習になる：音符を読む練習ができるから3、楽譜が見やすくて良い2
7. 色々なパターンの曲が弾ける：色々な曲のパターンが弾けるので2、基礎から応用まで弾けるから1
8. その他：分からない3、やる気1、1冊1冊した方が良いと思う1、どちらでも大丈夫だと思う1、あまり思わない1、好きな曲も弾いてみたい1、難しいから必要なし1、バイエルなどせずに園で弾きそうな曲をやれば良いのに1

7. 各設問に対する「バイエル」の課題27各曲の選択人数

表7は、各設問に対する「バイエル」の課題27各曲の選択人数をまとめたものである。

この表から、バイエルに対する「好き」「楽しい」「難しい」「嫌い」のいずれにおいても、B-5の100番が上位選択に入っていることで、100番への注目度の高さが分かる。

Cの98・104番が、バイエルに対する「難しい」「嫌い」としながらも、「好き」「楽しい」の人数がかなり多かった。上位を占めていた100・98・104番ともに難しい曲にもかかわらず「好き」「楽しい」で選択されるのは、やはり弾けるようになった時の達成感が大きいからであると考えられる。

意外だったのは、比較的弾き易い101・103番に「嫌い」の人数があったことで、曲が安易過ぎても面白くないと感じているのではないかと考えられる。

表7 各設問に対する「バイエル」の課題27各曲の選択人数

項目	番号	問1	問2	問3	問4
A. 連弾	No.44	2	1	0	1
	No.86	3	2	4	2
B-1. 3度重音の練習	No.68	0	0	0	1
	No.69	0	0	0	0
	No.97	5	9	5	6
B-2. 装飾音の練習	No.80	2	2	5	4
B-3. 置き止めの練習	No.78	7	8	1	1
	No.91	2	3	1	2
B-4. 和音(片手で同時に3音弾く)	No.96	2	1	1	0
B-5. 左右交差の練習	No.100	21	20	22	9
B-6. 指ぐり	No.65	0	1	0	1
C. 付点のリズムの練習	No.72	1	3	2	4
	No.88	4	3	1	2
	No.98	9	10	16	8
	No.102	2	4	9	12
	No.104	13	9	14	9
D. 三連音の練習	No.74	2	1	0	0
E. 臨時記号の練習	No.73	1	0	1	1
F. 八分の六拍子	No.66	0	0	0	0
G. 転調の練習	No.81	2	1	0	2
	No.82	1	1	5	6
H. 両手の動きの練習	No.12	0	0	0	0
	No.13	0	0	0	0
	No.23	1	1	0	0
	No.24	0	0	0	0
I. 音の動きが単調	No.101	5	6	3	5
	No.103	11	12	0	3
その他		4	2	4	5
無回答		8	8	14	24

(○付きの数字は、選択人数の第1位～第3位)

おわりに

今回、アンケートを実施してみて分かったことは、「バイエル」を与えられている学生側が、さほど「バイエル」を嫌っていないということである。

音楽には、情操教育(美しいもの、純粋なもの、崇高なものを見たり聞いたりして素直に感動する、豊かな心)が求められる場合が多い。幼稚園教育要領 第2章「ねらい及び内容」の表現の項目に、『感じたことや考えたことを自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現力を養い、創造性を豊かにする』とあり、1ねらい(6)には、『音楽に親しみ、歌を歌ったり、簡単なりズム楽器を使ったりするなど楽しさを味わう』とある。

子供たちに幼稚園教育要領にある音楽に関する内容を伝達するには指導する側が、その音楽の楽しさをよくよく感じていなければ難しい。

確かにピアノだけが楽器ではない、しかしながら実際、園での活動の中での中心的な楽器としては、

ピアノが用いられているのが実状である。

ここ数年、ピアノを習う子ども達が減少してきている中、養成校に入ってくる学生も、全くの初心者かほぼそれに近い学生が多い。その学生たちに短大2年間で、現場で通用する技術を身に付けさせるのは、どこの養成校でも大変なことであり、頭を悩まされている。

そんな中、ピアノを習ったことがない人でも知っている教則本「バイエル」を使うことは、全然知らない教則本を使うより、学生に親しみや安心感を与えることができる。

それと共に、学生自らが、自分のレベルを知ることができる教材なのではないだろうか。自己の音楽への力量を知るということは大切であり、そのことによって、何を補えば良いのかが分かるからだ。

アンケート結果から、学生達自身が「バイエル」に対して、役立っている、必要であるという回答が多かった。その理由として「バイエル」は、「初めてピアノを学ぶ者にとっては、順序よく習得していける」や「ピアノの基礎だと思っから」などの回答があり、「バイエル」が決して古めかしい教則本ではないのだということを、改めて知ることができた。

さらに、いくら温故知新と言っても、私たち教員も、ただ学生が勉強してきた曲を弾かせてミス正すだけではなく、どのようにして練習すれば良いのか練習の仕方を教えることが、即ち、技術を習得できた時の喜びを教えることになり、音楽で表現する楽しさを感じさせる、一番大切なことではないかと考えさせられた。

ピアノを弾くということは、地道な毎日の練習の積み重ねでできるようになることであって、今日練習したから明日は弾けるようになっている、なんてことはありえない。

ただ練習の仕方は色々あり、一概にこれが良いと言えるものはなく、十人十色なのである。

その十人十色の練習方法を見つけてあげることが、私たち指導者の役目ではないだろうか。

これは何もピアノに限ったことではなく、どのようなことでも当てはまることである。どんなことであろうと、一生懸命に練習した後で感じた達成感は何れも得難い喜びであり、その喜びを一度でも知れば、次の者へ伝えることはできる。

なぜならば、自分の頭と、心と、身体で感じた喜びであり楽しさであるからである。

今回のアンケートを読んでいて、普段は「難しい」とか「分からない」とか不満ばかり言っていた学生たちではあるが、アンケートを通じて、きちんと「バイエル」の神髄を理解し、達成感を味わってくれていることがよく分かり、嬉しくもあった。

最後に、学生指導において、教材云々ではなく、「バイエル」に限らずに「指導する側の教え方ひとつで変わる」ということを、自らに戒める契機としたい。

謝辞

本調査を実施するに際して、協力を戴いたピアノ担当の諸先生方と大阪城南女子短期大学総合保育学科2年次（平成25年度）の学生、そして貴重なご助言を頂きました大阪総合保育大学 坂口哲司教授に深く謝意

を申し上げます。

参考文献

浅香淳ほか編. 新音楽辞典. 楽語. 音楽之友社. 1986.

音楽之友社. バイエルピアノ教則本「やさしい楽典」付. 2006.

川喜田二郎. 発想法—創造性開発のために 中公新書. 1967.

川喜田二郎. 続・発想法—KJ法の展開と応用に 中公新書. 1970.

草野夏矢. ピアノ雑学100 シンコーミュージック・エンタテイメント. 2012.

品川泰一. 学習資料集 (用語・法令・補足資料) U-CAN.

「バイエル」によるピアノ練習に関するアンケート

井上裕子
2014/01

H25年度 1年生 (別紙の楽譜を参照して下さい。)

問 1. バイエルの何番が、弾いて好きですか。
() 番

各設問に該当する数字を
○で囲んでください。

好きな理由は何ですか。自由に書いてください。

大変好き 4
かなり好き 3
やや好き 2
好き 1

問 2. バイエルの何番が、弾いて楽しいですか。
() 番

楽しい理由は何ですか。自由に書いてください。

大変楽しい 4
かなり楽しい 3
やや楽しい 2
楽しい 1

問 3. バイエルの何番が、弾いて難しいですか。
() 番

難しい理由は何ですか。自由に書いてください。

大変難しい 4
かなり難しい 3
やや難しい 2
難しい 1

問 4. バイエルの何番が、弾いて嫌いですか。
() 番

嫌いな理由は何ですか。自由に書いてください。

大変嫌い 4
かなり嫌い 3
やや嫌い 2
嫌い 1

問 5. バイエルは、ピアノをマスターするのに役立っていると思いますか。
その理由は何ですか。自由に書いてください。

役立っている 5
やや役立っている 4
どちらともいえない 3
やや役立っていない 2
役立っていない 1

問 6. バイエルは、ピアノをマスターするのに必要だと思いますか。
その理由は何ですか。自由に書いてください。

必要である 5
やや必要である 4
どちらともいえない 3
やや必要でない 2
必要でない 1

資料 2

23. Moderato

24. *legato*

44. Moderato
1 2 3 4 *sempre legato*

65. Moderato
sempre legato

66. Allegretto
dolce

68. Moderato
mf

69. *mf*

72. Comodo
dolce

73. Moderato

74. Moderato
dolce

78. Allegretto
f *dolce*

80. Allegretto
mf

81. Allegretto
p

82. Allegretto
dolce *mf* *dim.*

86. Moderato
legato

88. Moderato
dolce

91. Allegretto
dolce

96. Allegro *
p *cresc.*

97. Allegretto
mf

98. Allegro
mf

100. Allegro
mf

101. Allegro moderato
mf

102. Moderato
dolce
legato

103. Allegro moderato
dolce
legato

104. Allegretto
dolce
legato